

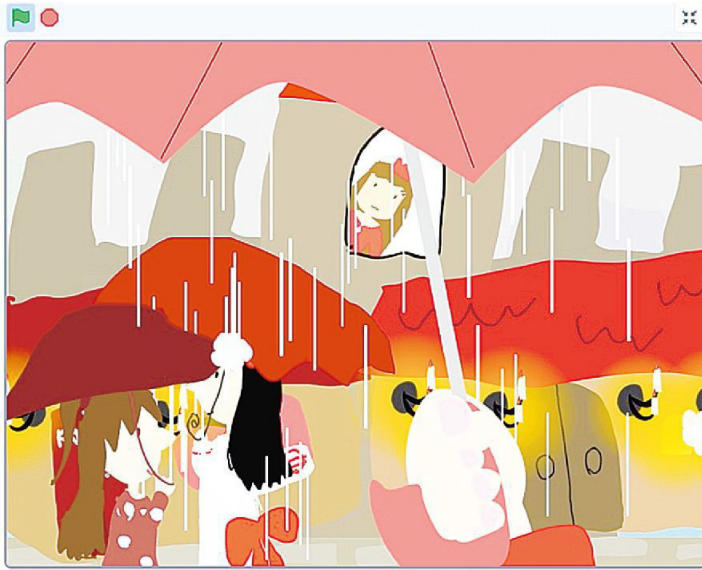
小学生プログラミング

瑞穂の駅場さん全国大会へ



駅場乙葉さん

豊かな発想力を生かした
プログラミング作品の出来
栄えを競う「全国選抜小学
生プログラミング大会」の



「おうじさまのすきないろ」の一場面

島根県大会が22日、オンラインで開催された。県内の4人が工夫を凝らした作品を発表し、邑南町立瑞穂小6年の駅場乙葉さん(12)が県代表に選ばれた。

島根のIT人材の発掘や育成のため山陰中央新報社、島根大、松江高専が主催。昨年のプレ大会を経たの開催となった。

出場した児童は、子どもからお年寄りまで楽しめる

ようにとマウスの操作で簡単に遊べる作品や、自作のキャラクターに餌を与えて世話をするゲームなどを披露した。

県代表となった駅場さんの作品「おうじさまのすきないろ」は、絵本の物語に合わせて登場人物の衣装がカラフルに変化する内容で、方向を指示すると空や足元に目線がゆっくりと変わる複雑なプログラミング

が評価された。
駅場さんは「目線が変わ

る」傘のシーンのプログラミングに驚いてほしい。優勝を目指します」と話した。
全国大会は3月6日にオンラインで開催される。
(森みずき)